

道徳だより

令和2年6月

～夢と笑顔と「ありがとう」があふれる上里東小学校～

クラス全員そろって授業が再開されました。久しぶりの学校で、生活リズムを取り戻すことを心配していましたが、東小の子供たちは、外で思いっきり遊びたくてウズウズしています。雨の日が多い季節になりましたが、雨にも負けず、友達と学び合える空間を大切にして活気を取り戻していけたらと思います。

さて、「道徳だより」は、学校での道徳の時間を通して子供たちが何を考えているのか、どんな感想等をもったかなどについてお知らせしたいと思います。心の教育について、学校と家庭のかけ橋になればと思います。是非、お読みください。道徳だより6月号では、5年生の授業の感想をまとめましたので、御家族でお話のあらすじと同じ場面を思い浮かべながら、読んでいただければと思います。

<5年生の授業より>

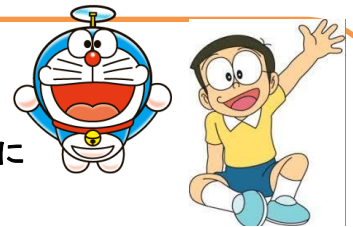
「のび太に学ぼう」～よりよく生きる喜び～

★自分の弱さに負けることなく、目標をもってよりよく生きる喜び幸せのヒント
人には弱い部分があると同時に、よりよくなろうという思いをもっていることに
気づき、人間として生きる喜びをもとうとする心情を育てる。

●お話の内容●

「のび太に学ぼう」と題した教材は、のび太を「スポーツも勉強も苦手で、たいてい何をやってもうまくいきません」などと紹介。その上で、「そんな『のび太』にも、すてきなところがあると思いませんか」と語りかける。

いつまでも落ちこまず、誰にでもやさしく、熱い心をもつ。のび太の長所を描いた場面を並べのび太の生き方や、子供たち自身の将来について問いかける。「のび太の多面的な姿を示すことで、子供たちに生き方を考えてもらいたいです。



★よりよく生きることについて、考えましょう。

◎のび太の生き方から自分の生き方を考えてみましょう。

○のび太はどんな子ですか。

- ・なまけもの・弱虫
- ・あきらめちゃう
- ・流されやすい
- ・やさしい・前向き

今、辛くても挑戦しよう。のび太は、立派な大人になるために勉強しようと意欲に燃えるシーンがあります。将来、よいことがあると思えると人は頑張れるもの。夢、希望というのは頑張る原動力になります。実際にはタイムマシンのように未来を見ることはできませんが、大人は、「未来は絶対よくなる」という確信のこもるメッセージを子供に発信し続けることがとても大切だと感じます。

- ・みんなにやさしくしたい。
- ・あきらめずに努力し、自分の決めた道をまっすぐに進みたい。
- ・長所を増やしたい。
- ・自分ではできない人間!と、思わないようにして生きる。
- ・いちいち落ち込まず、友達と仲良く前向きに生きて、幸せになりたい。
- ・目標を立て、それを達成する。
- ・人にありがとうと、言われたい。
- ・のんびり生きたい。自由に生きたい。
- ・なるべく長所を中心に生きていきたい。
- ・熱心に取り組み、その目標をクリアにすれば次の目標がもてる。
- ・いつもマイナス思考だけど、プラス思考も増やすようにする。
- ・自分を追い込まない。やる時はやる。遊ぶときは遊ぶ。けじめをつける。
- ・人の幸せを願う人になりたい。
- ・悪いほうへ向かわないでいいほうに向かいたい。
- ・一回やり始めたことはなかなかあきないけれど、できなくて怒られたりするとあきらめちゃうので、そこを直そうと思った。